

# 豊中の未来を描こう！！

発行 2023 年 11 月

VOL. 205

かんばんこういちろう

## 神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～

一気に  
寒さを感じる  
季節になって  
きましたね。

豊中市議会議員  
無所属



### 関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

## 2022年度決算審査！！

#### 不登校児童生徒への対応

～学びの保障や生きる力の醸成が最重要!!～

**Q.** 本市の小中学校の不登校児童生徒数の推移は？

**A.** 2022年度までの5年間、360人、383人、513人、778人、899人で推移し、約2.5倍増となっている。

**Q.** 不登校児童生徒一人ひとりのニーズや思いに沿った場所や機会を状況に応じて、確保、提供し続けることが必要かつ重要だと考えるが、市の見解は？

**A.** 文科省通知では、【「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的自立を目指す必要がある】としている。本市でも、学びの保障や生きる力の醸成、社会順応性が育める環境や機会を確立するため、学校内だけでなく、学校外でも不登校児童生徒が社会的自立できるための支援策の充実をすすめている。

#### ☆意見・要望☆

不登校児童生徒の個々のニーズや思いに沿った多種多様な支援策、機会を可能な限り学校内外で提供するよう尽力して欲しい。

#### タブレットの活用状況

～タブレット端末に対する認識の共有を!!～

**Q.** 各学校のタブレット導入前後の変化やタブレットの活用による子どもたちの学びへの影響は？

**A.** 一人一台タブレット端末では、各自の考えをリアルタイムで共有し、多様な意見に即時に触れたり、双方向で意見交換することが可能となった。また、デジタル教科書や学習動画・ドリル教材等の活用、検索サイトでの調べ学習、プレゼンソフトでの発表など、個別学習と協働学習それぞれの充実が図られている。

#### ☆意見・要望☆

学年や成長度合いによって、タブレットの利活用の内容も量も変わってくるが、教育委員会が考える学年ごとの標準的なタブレットの活用内容を子どもたちや保護者に分かりやすく示して欲しい。また、タブレット端末の活用や、個別学習と協働学習の充実が各学校、各学年で、どれくらい図れているのか、調査し、分析して欲しい。

#### ヤングケアラーの実態

～生きづらさの連鎖の解消を!!～

**Q.** 昨年度の相談者や相談内容の特徴や傾向は？

**A.** ひとり親家庭がやや多く、母が精神疾患や発達障害など生きづらさを抱え、子どもが家事や母のメンタルサポートを担う事例、幼いまたは障害のあるきょうだいの世話をしている事例などが多くみられた。 保護者や子どもの思いやしんどさを受け止め、寄り添う中で家庭の状況やニーズを把握し、関係機関と情報共有、役割分担しながら連携して対応し、解決につなげている。

#### 支援学級の現状

～障がい児介助員の確保と適正配置を!!～

**Q.** 小中学校の支援学級在籍児童生徒数の推移は？

**A.** 令和2年度から令和5年度まで、小学校は、1341名、1410名、1559名、1613名、中学校は、403名、481名、505名、536名で推移している。

#### ☆意見・要望☆

支援学級の在籍児童生徒数は今後も増加が見込まれるが、きめ細かく個々のニーズに対応できるように、障がい児介助員の確保に努めて欲しい。



## 放課後・土日の学習支援

～まずは、学習習慣の定着率向上から!!～

**Q. 昨年度スタートした事業だが、事業の詳細は？**

A. 放課後や土日を活用し、生徒一人ひとりの理解状況に応じた個別の学びの場を確保し、生徒が学習習慣を身に付け、学力向上につなげることを目的に、市内の5つの中学校の全学年の希望者を対象に、民間教育事業者を活用して実施した。中央、庄内、千里の各公民館で、数学と英語を1回45分ずつ、計20回行った。

### ☆意見・要望☆

今年度から対象を全中学校に拡充し、実施場所や実施回数も増やしたが、開催曜日や開催時間での参加が困難な生徒が一定数存在している。本事業の利用を望む生徒が一人でも多く参加できるように努めて欲しい。

## ひとり親家庭支援

～確実な養育費の確保を目指して!!～

**Q. 昨年9月から養育費確保にかかる弁護士費用の補助が開始されたが、実績と効果は？**

A. 補助を活用された2件のうち、1件は相手方の支払い能力の問題で養育費の確保につながらず、もう1件は現在確保に向けて手続き中。

**Q. 養育費を取り決める公正証書等作成促進補助も開始されたが、実績と効果は？**

A. 補助を利用した34件のうち、21件は養育費を確保できていることを確認した。

**Q. 両事業の認知度向上、利用促進に努めるべきでは？**

A. アンケート結果では、養育費を受け取っているのは約3割。また、養育費の取り決めをしている割合も低く、取り決めをしていても履行されていないケースがあることから、事業の周知に努め、養育費の確保を支援していく。

### ☆意見・要望☆

養育費を受け取るという意識のない方や諦めている方は少なくない。養育費を確保することが一般化、常識化するよう様々な機会、媒体、手法を通じて、周知や啓発に努めて欲しい。

## いじめの現状と対応

～早期発見、早期解決の仕組みづくりを!!～

**Q. ここ数年のいじめの認知件数の推移は？**

A. 豊中市立小中学校のいじめの認知件数は、令和2年度から令和4年度まで、476件、848件、1426件と増加傾向にある。

**Q. いじめの相談や報告があった場合の対応方法は？**

A. 教員は関係児童生徒から事実確認を行い、関係児童生徒の保護者に共有する。いじめを受けた児童生徒には、学校生活での安心、安全のために見守り体制を確保し、必要に応じてスクールカウンセラーなど専門職とも連携する。いじめを行った児童生徒には、いじめは絶対に許されない行為であることを示し、再発の防止に取り組む。また、いじめを行った児童生徒が抱える問題などいじめの背景にも留意・理解を得た上で、学校と保護者が連携して対応を進める。

**Q. 解決に至らないケースはどれくらいあるのか？**

A. 令和4年度のいじめの未解消率は、小学校で4.5%、中学校で10.0%。

### ☆意見・要望☆

被害児童生徒への総合的なケアが最優先だが、加害児童生徒がいじめをするに至った背景や事情をきちんと把握し、その要因を解消し、再発させない取り組みにも尽力して欲しい。一方、解消のめどが立たない事案を長期間に渡り、教員が対応し続けるのは、教員本人にとっても、関係児童生徒や保護者にとっても良くないため、第三者の立場で対応にあたる仕組みや体制づくりを構築して欲しい。

## 小中学校のトイレ改修

～くさい・汚い・暗いの早期改善を!!～

**Q. 現時点で、小中学校のトイレ改修の完了用途は？**

A. これまで計画的に①校舎棟縦1系列の改修、②体育館トイレの多機能トイレの整備、③校舎和式トイレの様式化の3つのパターンを組み合わせで行っている。校舎棟は1棟の縦1系列のトイレ改修のみだが、②、③含めて、令和7年度末までの完了を目指している。

## 神原宏一郎事務所(前向きひろば)

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2階  
TEL&FAX:6854-5664

平日(土・日祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young\_spiritjp@yahoo.co.jp

http://positive-square.sakura.ne.jp/

※この通信物は、政務活動費を使用し発行しています。

発行元 大阪維新の会・無所属議員団(神原所属会派)

〒561-8501 豊中市中桜塚 3-1-1 ☎6858-2525(代表)



### 前向きひろば 神原宏一郎 事務所

